

『天孫降臨』



自民党総務会長代理
参議院議員

松下新平



平成18年の政経文化画人展に出品して芸術
議員連盟奨励賞をいただきました。

皇祖神天照大御神がその孫瓊杵尊に三種
の神器と国土統治の無窮を説いた神勅を与え
て、国土統治のため高天原から日向国高千穂
峰に降臨させたという神話をモチーフに美術
大出身の従兄弟からアドバイスを受けながら
精魂込めて作成しました。

『昔の宰相は絵心があった。』国会議員になっ
てたびたび耳にしていました。もちろん、昔
が暇で絵を描く時間があったわけではありま
せん。大所高所からの決断が求められるから
こそ、精神性が重視されるまつりごとを執る
者の嗜みであったと解します。

なるほど、コロナ禍を経験し、文化芸術の
持つ力は、すべての国民が真にゆとりと潤い
を実感できる心豊かな生活を実現していく上
で不可欠なものであり、国民全体の社会的財
産であるとの再認識がなされました。文化芸
術の持つ、人々を引き付ける魅力や社会に与
える影響力、すなわち、「文化力」が国の力だ
あるということが世界の常識でもあります。

歴史を紡いできた、自然に恵まれた日本だ
からこそ、文化芸術で国づくりを進める「文
化芸術立国」を目指し、『争い合う時代から、
許し合う時代へ』を実践して参ります。